

東京日英学院

2023（令和5）年度 自己点検・評価表

A：達成されている B：ほぼ達成されている C：改善に取り組んでいる D：取り組みを検討している

1. 教育の理念・目標

評価

1-1	学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっているか	A
1-2	その内容が社会のニーズに合致したものとなっているか	A
現状・課題	「本学は、外国人に対する日本語教育を行い、相互理解の深化を図り、もって国際交流の発展に寄与すること」（学則第1条）を目的とし、全教職員が確認できるよう、紙媒体・電子版の双方において公開している。留学生にとって足がかりとなる日本語学校の役割は大きく、日本語教育のみならず、ルールやマナー等に関しても、全教職員が共通認識を持ち、適宜指導している。	

2. 学校運営

評価

2-1	日本語教育機関の告示基準は満たしているか	A
2-2	学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	A
2-3	組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	B
現状・課題	共通認識を持つため、告示基準及び解釈指針を全職員に配布している。各基準について要件を満たしているかメイン・サブを設置し、漏れが出ないように努めている。各規定について、随時確認ができるがように整備がされているが、時流に合わせた見直しを検討する必要がある。加えて、勤続年数が長い、また能力があるスタッフに一部業務が集中しているため、そちらも見直し、体制を整える必要がある。	

3. 教育活動

評価

3-1	教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	A
3-2	生徒が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	A
3-3	成績評価や進級、修了の判定基準は明確となり、運用されているか	B
3-4	教員の指導力向上のための取り組み、教育課程の改善のための取り組みが行われているか	C
現状・課題	授業は、体系的に編成されたカリキュラムを基にした月毎のスケジュールを日々進めている。コロナ以前のように定員に近い学生数に戻ったことや離職する教員がいる中での運営状況であり、各教員の指導力向上のための取組が不十分なことが課題である。	

4. 学修成果

評価

4-1	生徒の日本語能力の向上が図られているか	B
4-2	生徒の日本語能力が機関が定める到達目標に達しているか	A
4-3	生徒の進路を適切に把握しているか	A
現状・課題	メインのカリキュラムとは別に日本語能力試験等の各種テスト対策を実施、またテスト後は結果（クラス別）を全体に共有し、クラス別に弱点の克服に役立てている。学生の進路に関しては、入学後の定期的面談、また卒業後に関しても学生全員とSNS等で繋がっているため、問題なく把握できている。	

5. 生徒支援

評価

5-1	生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか	A
5-2	健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか	A

5-3	防災や緊急時における体制が整備されているかといった観点	A
現状・課題	元大学教授の方を進学アドバイザーとして採用し、進路が大学希望の学生に対し、より良い提案ができるような体制を敷いている。また、元警察官の方も採用し、定期的な面談を実施、学生が生活面で困っていること等を吸い上げるようにしている。健康管理については、全学生を対象に年に1回実施している。消防計画も見直し、緊急時の連絡体制として複数備えている。	

6. 教育環境

評価

6-1	日本語教育機関の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	A
6-2	教材は適切か、学習効率を図るための環境整備がなされているか	B
現状・課題	告示基準を昨今の日本語教育養成機関等でのICT活用の促進を鑑み、当校でもプロジェクタやモニターを使い、授業を展開できるよう設備環境を整えた。初級の教材に関しては全てのクラスで統一され、初中級以降については、クラスに合わせて選定しているが、学生側のニーズも反映させたいと考え、アンケートを予定している。	

7. 入学者の募集

評価

7-1	入学者の募集は適切に行われているか	A
7-2	募集の際に学校情報は正確に伝えられているか	A
7-3	授業料等は適切か	A
現状・課題	2023年度もコロナ禍に引き続き、大多数がオンライン面接での入学者選考であった。一部、現地へ赴き学校説明及びレベルチェックテスト、面接を実施した。入学者対象の選考だけではなく、仲介別にも評価（在校生を仲介別に分け、それぞれの成績や出席率等を計算）し、問題が多い傾向がある仲介に関しても、見直しを図っている。	

8. 財務

評価

8-1	中長期的に財務基盤は安定しているか	C
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	B
8-3	財務について会計監査は適切に行われているか	A
8-4	財務情報の公開の体制はできているか	C
現状・課題	4期ぶりに財務状況は改善したが、コロナウイルスの影響により、財務状況はまだまだ不安定である。収支計画上では翌年も同様の売上・利益が見込めるが、不測の事態が発生しても対応できる財務基盤作りを早急に目指す必要がある。	

9. 法令遵守

評価

9-1	出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営を行っているか	A
9-2	個人情報の保護の取組を適切に行っているか	A
9-3	自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか	B
現状・課題	入管法、個人情報保護法等の法律遵守はもちろん、法に基づき運営を行っている。学生や職員等の個人に関する照会の対応や管理、SNS投稿の中で個人情報が漏洩することがないよう徹底している。	

10. 地域貢献・社会貢献

評価

10-1	日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、生徒のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などの取組を行っているか	B
現状・課題	教育実習生受入に向け、着手開始（2025年11-12月実施予定） 全国日本語学校連合会主催の「語学留学生による日本語弁論大会」1名出場。	